

教職課程について

1. 本大学院で取得することのできる免許状

専攻	種類	教科
英語学専攻	中学校教諭専修免許状 高等学校教諭専修免許状	英語 英語
国語国文学専攻	中学校教諭専修免許状 高等学校教諭専修免許状	国語 国語

※心理学専攻は取得できない。

2. 教員養成の理念、養成の目標および養成する教員像

大学院文学研究科

教員養成の理念

1. 他者への思いやりの心を持って教育に携わるのにふさわしい人材の育成を目指す。
2. 専門分野における最先端の動向に常に関心を持ち、その知識を授業設計や教育改善に役立たせることができる人材の育成を目指す。
3. 大学院での研究成果を基盤に持つ専門家としての自覚を持ち、教育現場において指導的役割を果たすことができる人材の育成を目指す。

養成する教員像

1. 他者への思いやりの心を持ち、一人ひとりの個性を尊重しながら生徒と接することができる教員。
2. 専門的知識や教育方法を基に生徒の関心と学修意欲を引き出せる教員。
3. 専門家としての自覚を持ち、主体的に自らの学識を高めるだけでなく、授業においては教育改善に取り組み、教育現場においては指導的な役割を果たすことができる教員。

養成の目標

1. 教員として望ましい人格の育成
教育に対する情熱と生徒への深い理解と愛情を持ち、コミュニケーション能力に優れた人材を育てる。
2. 教科の専門性と実践的指導力の育成
教科に関する専門的な知識、技術を教育現場において実践することができる人材を育てる。
3. 生涯を通じて向上していく自己教育力の育成
現状に満足することなく、自己教育力の向上を目指して、学び続けることができる人材を育てる。

「英語」専修免許課程（英語学専攻）

養成する教員像

1. 言語としての英語に関する専門的な知識を、絶えず変化する外国語教育現場のニーズに合わせて最善の授業を設計・実践できる教員。
2. コミュニケーションとしての英語に関する高い運用能力を身につけ、グローバル化した世界において、異文化・多文化を超え人々とことばを通じて意思を伝え合うことができる教員。
3. 修了後も研究への関心を持ち続け、獲得した最先端の知見を実践を通じて教育現場に還元できる教員。

養成の目標

1. 英語学、英語教育に関する専門的知識のみならず、コンピュータに関する高度な実践的能力を修得することによって、これからの英語教育に必要とされる能力を兼ね備えた人材を育成する。
2. 国際的な場面で英語を自在に使える英語力を身につけているだけでなく、教室において英語による授業を展開することで、生徒の意欲・関心を引き出せる人材を育成する。
3. 国際化社会に生きる次世代の生徒を教育するのに十分な資質を持つことに加え、理論と実践の両面において同僚のリーダー的存在となれる人材を育成する。

「国語」専修免許課程（国語国文学専攻）

養成する教員像

1. 日本語学（国語学）と日本文学（国文学）に関する幅広い視野と深い学識をもって、それぞれの研究分野で深めた専門性を「国語科教育」に活かすことのできる教員。
2. グローバルな視点を持って、日本語と日本文化・日本文学の特徴を捉え、その価値と意義を発信し、これらについての深い理解を生徒に定着させることのできる教員。
3. 伝統的な日本文化から現代の言語に至る様々な文化的・言語的事象に常に関心を持ち、不断に学び、探究しようとする姿勢を持ち続ける教員。

養成の目標

1. 日本語学（国語学）と日本文学（国文学）の分野についての高度な専門知識と幅広い識見を有する人材を育てる。
2. 古代から現代に至る日本語および日本文化・日本文学について、その伝統や特徴を深く捉え、さらには、現代の社会的言語実態についての専門的な洞察力も持って、国語科教育に当たる人材を育てる。
3. 教育現場において指導的な立場で、言語活動の教育を意欲的に推進し、生徒の言語能力の育成に力を発揮する有用な人材を育てる。

3. 免許状取得要件：以下のすべてを充足すること。

- (1) 当該免許状の校種・教科の一種免許状を有していること。
- (2) 大学院を修了（修士の学位を取得）すること。
- (3) 大学院において、所定の教科に関する科目（24単位）を修得すること。

4. 教科及び教科の指導法に関する科目

<英語>

2022年度入学生

	授業科目	単位数		履修方法等
		必	選	
教科及び教科の指導法に関する科目	英語授業論 A	2		必修6科目12単位、選択6科目12単位以上修得し、合計24単位以上修得のこと。
	英語授業論 B	2		
	英語教授法 A	2		
	英語教授法 B	2		
	語学教育理論 A	2		
	語学教育理論 B	2		
	音声学・音韻論		2	
	言語と知識		2	
	意味論・語用論		2	
	言語と社会・談話分析		2	
	音韻論・形態論		2	
	文法と意味		2	
	社会言語学・変異理論		2	
	言語と認識		2	
	日英対照文法論		2	
	文化学・異文化理解		2	
	バイリンガリズム		2	
	児童英語教育		2	
	言語と数学		2	
	言語科学方法論		2	
言語と情報		2		

<国語>

	授業科目	単位数		履修方法等	
		必	選		
教科及び教科の指導法に関する科目	日本文学	日本文学特殊講義ⅠA		2	日本文学、日本語学・日本語教育学の2系統から1系統を選び、その系統の開講科目から20単位以上を修得し、さらに他の系統から4単位以上修得し、合計24単位以上修得のこと。
		日本文学特殊講義ⅠB		2	
		日本文学特殊講義ⅡA		2	
		日本文学特殊講義ⅡB		2	
		日本文学演習ⅠA		2	
		日本文学演習ⅠB		2	
		日本文学演習ⅡA		2	
		日本文学演習ⅡB		2	
		日本文学史特殊講義A		2	
		日本文学史特殊講義B		2	
	日本語学・日本語教育学	日本語学特殊講義ⅠA		2	
		日本語学特殊講義ⅠB		2	
		日本語学特殊講義ⅡA		2	
		日本語学特殊講義ⅡB		2	
		日本学特殊講義A		2	
		日本学特殊講義B		2	
		日本語学演習ⅠA		2	
		日本語学演習ⅠB		2	
		日本語学演習ⅡA		2	
		日本語学演習ⅡB		2	
		日本語教育特殊講義A		2	
		日本語教育特殊講義B		2	
		日本語教育演習A		2	
		日本語教育演習B		2	

5. 一種免許状を有しない者は、大学の科目等履修生として所定の科目を修得することにより、取得することができる場合がある。教務課で相談のうえ、所定の手続をとること。(場合により、科目等履修が認められないこともある。)